

Title	Corrigenda
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2008
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 言語・文化・コミュニケーション (Language, culture and communication). No.40 (2008. ) ,p.212-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10032394-20081220-0212">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10032394-20081220-0212</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

34. 大野, 246 頁。
35. 水原秋桜子『俳句鑑賞辞典』(東京堂, 1971) 61 頁。
36. 「俳句の 50 年」121 頁。
37. 岡田日郎「第四期 昭和後期の虚子」[山口誓子ほか編『高濱虚子研究』(右文書院, 1974)] 116 頁。
38. Jean-Paul Sartre, *Existentialism and Humanism* (1946), trans. Philip Mairet (London: Methuen, 1948; 1973), p. 26.
39. この句は、振り込め詐欺の横行する平成の昨今にも適用し得る知恵であり、その他、何かにつけて情報の提供や意見などを求められた時の自衛策になるエピソードである。
40. 『虚子俳話』128 頁, 162 頁, 180 頁。
41. 『全集 第 10 巻』174 頁。
42. T. S. Eliot, *Selected Essays* (London: Faber and Faber, 1932; 1980), p. 21.
43. 同書, 17 頁。
44. 高浜年尾「父の病床八日間」(『ホトトギス』62 巻 6 号, 1959) 13-17 頁。
45. 小西, 205 頁。ことばを少し変えて引用。
46. 小西, 224 頁。
47. 一方, 20 代後期の虚子には「小説に己が天地や炉火おこる」(明 36) の句があり, その頃彼が張り詰めた気持ちで読書し, 熱情の火を掻き立てられた様子が窺える。
48. 漱石は「痛切, 深刻とかが小説の極致であるかと問われると, 首を傾げざるをえぬ」と言っている(『全集』別巻, 134 頁)。  
虚子には『俳諧師』『続俳諧師』などのように, 人生の意味を問い, 主人公の運命の転変を含む作品もある。サルトルによれば, マラルメは, 「社会, 自然, 家族, あらゆるものを拒絶した」という [Jean-Paul Sartre, “Mallarmé: The Poetry of Suicide” (1966), *Between Existentialism and Marxism*, trans. John Mathews (New York: Pantheon Books, 1974)。これに倣って言うならば, 虚子の文学にも, 「現実拒否」や社会への「異議申し立て」がないわけではない。
49. 『俳句讀本』16 頁。
50. Terry Eagleton, *Marx and Freedom* (London: Phoenix, 1997), p. 6.

### Corrigenda

『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』(No.38) 拙稿

- p. 106, l. 5: アルメニア主義 (誤) → アルミニウス主義 (正)  
 p. 126, ll. 9-10: ジョン・ゴドウィン (John Godwin) (誤) → ジョン・グッドウィン (John Goodwin) (正)